

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>インベーター・フェニックス</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.500</b>	△RG <b>0.049</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：インベーター・フェニックス**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤 番

**比較対照ボール：インベーター・アンコール**

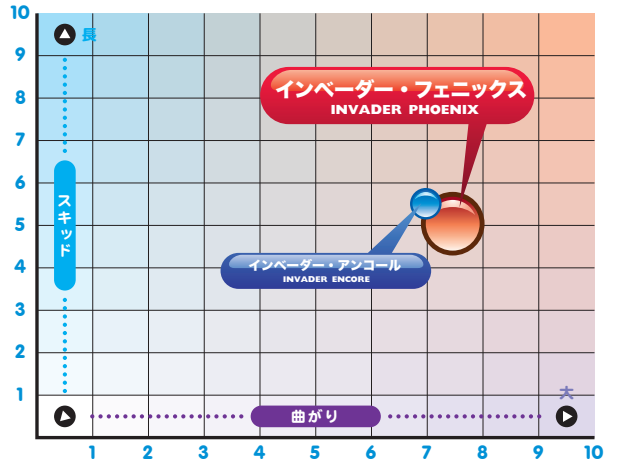
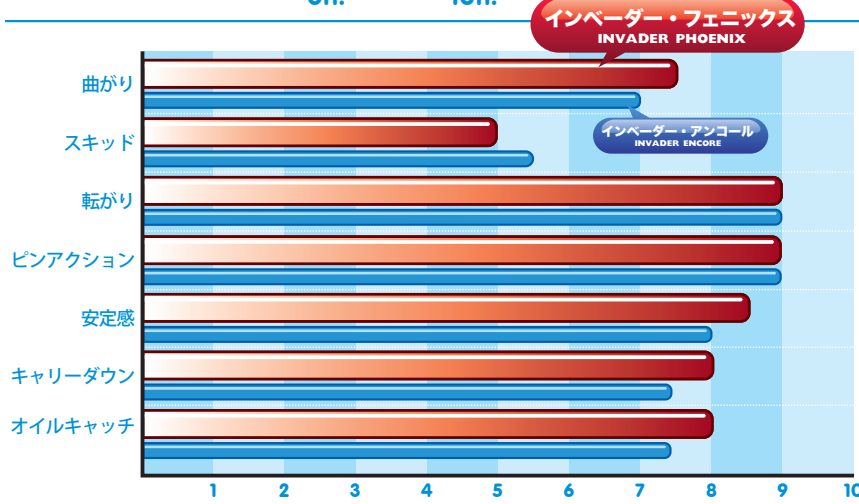
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤 番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

多くのユーザーにINVADERシリーズが受け入れられた理由、それはオイルに対して安定したスキッドと幅広いコンディションで高いレベルでリアクションが実現されること。すなわちスキッドとキャッチの高いレベルでの融合と言えるでしょう。

”キャッチするけどしっかりと走りを感じる”。限定されたステージで活躍するのではなく、幅広いコンディションで余すことなくパフォーマンスを発揮できる。それがPro-am製品の特徴であり、日本のみならず世界レベルに通用するカバーストックの技と言えます。

今回のINVADER PHOENIXは今までのINVADER主体のPearlカバーストックからHybridに視点を置き換え、INVADER ENCOREのMO5.7Pα (Pearl)をMO5.7Hα (Hybrid)にしました。カバーの領域はそのままPearlをHybridにすることで、ENCOREのやや長めのスキッドを抑え、暴れるぐらいのバックエンドリアクションはそのまま活かすことができました。

開発段階でカバーの領域を試しながらテストングを行ってきましたが、カバーを強めにし過ぎるとバックエンドの動きのメリハリ感が減少し、カバーをやや弱めにするオイルに左右されがちになりました。今回MO5.7をHybridにすることでその恩恵は走りとの動きに高いレベルの調和が生まれ、しっかりと曲がるイメージと攻撃的なイメージ双方を併せ持つ性能に仕上がったと思います。

走りの中にしっかりとブレーキ感が出て向きが変わり具合も俊敏に見えるところは、”INVADER”らしさが出ています。

ABSでは多くのブランドを取り扱っていますが、今も多くの方々にさらなるINVADERを熱望されます。ユーザーの声に耳を傾け、さらなる性能を求め皆様に届けたいと思います。

### 特記事項

**あらたなMO5.7Hαカバーストックと∞(インフィニティー)2.50コアの相性は抜群で、走りとキャッチ、バックエンドの動きまで高いレベルで仕上がっています。メリハリがあり、幅広いコンディションをお求めの方はこのボール一択でしょう。**